



気候変動観測衛星

GCOM-C
Global Change Observation Mission - Climate

資料3

G-Portal 公開情報

2019年9月27日
GCOMプロジェクトチーム

G-Portal画面の見方

G-Portal

地球観測衛星データ提供システム

まずは目的のデータがあるか検索(どなたでも検索できます)
※ダウンロードには登録が必要です。

- 物理量から検索
降水・海色・植生などから絞り込み
- 衛星からの検索
衛星・センサ・レベルから絞り込み
- 直接ダウンロード
FTP等でのダウンロード方法

- ログイン
- ユーザ登録
- 初めての方へ
- プロダクト情報・運用情報**
- ツール・ドキュメント
- サポート・問い合わせ
- お知らせ

サイト内検索:
Google Custom Search

日本語 ENGLISH

JAXA

Copyright © Japan Aerospace Exploration Agency

G-Portalは、様々な分野で利用いただくことを目的とした地球観測データを無償で提供しています。



お知らせ [2019/09/25] NOAA-19 MHS L1Cプロダクト提供の一時停止

NOAA-19 MHS のチャンネル2 (157GHz) に障害が発生したため、L1Cプロダクトの配信を停止いたします。

利用事例

地域社会に役立つ地球観測衛星 (漁業編)



- GCOM-C/SGLI, GCOM-W/AMSR2
- 海面水温



G-Portalから提供している情報

- 1) 運用情報 = イベント情報/SGLIデータ欠損情報
- 2) プロダクト情報 = 調査中の案件リスト
- 3) データ利用に関わるFAQ = FAQ



プロダクト情報・運用情報

衛星ごとのプロダクト情報・運用情報を提供します。

GCOM-Cタブを押すと
関連情報が表示されます。

共通	GCOM-C	GCOM-W1	GPM	ALOS	ALOS-2	CIRC	ADEOS	ADEOS-II	AQUA
TRMM	JERS-1	MOS-1	MOS-1b	GPM Constellation satellites			GSMaP	TRMM(EOC)	
AQUA(CMR)		TERRA							

衛星・センサ運用・プロダクト情報

以下のGCOM-C/SGLIの運用情報を掲載しています。

- ・ [イベント情報](#) : 衛星運用におけるイベント情報(軌道制御情報や校正マヌーバ情報等)を掲載します。
- ・ [SGLIデータ欠損情報](#) : 観測データの欠損情報を掲載します。
- ・ [調査中の案件リスト](#) : 現在提供しているSGLIプロダクトにおいて処置中の課題一覧です。
- ・ [FAQ](#) : よくある質問をまとめております。

G-Portalから提供している情報

- 1) 運用情報 = イベント情報/SGLIデータ欠損情報
- 2) プロダクト情報 = 調査中の案件リスト
- 3) データ利用に関わるFAQ = FAQ

●SGLI Event List

Here shows GCOM-C/SGLI orbit control or calibration information during routine observation phase (from March 28, 2018). Initial checkout period (until March 28) is not included because various operations were carried out.

Table 1. Result

From(UT)		To(UT)		Duration	Comments
Date	Time	Date	Time		
2019/09/14	12:05:01	2019/09/14	12:45:06	0:40:05	Lunar calibration maneuver.
2019/08/16	01:23:26	2019/08/16	02:03:32	0:40:06	Lunar calibration maneuver.
2019/08/01		2019/08/05		96:00:00	TIR Health check.
2019/07/17	07:59:08	2019/07/17	08:39:15	0:40:07	Lunar calibration maneuver.
2019/06/17	21:20:17	2019/06/17	22:00:24	0:40:07	Lunar calibration maneuver.
2019/05/20	00:10:27	2019/05/24	3:26:49	99:16:22	TIR Health check.
2019/05/19	09:02:07	2019/05/19	09:42:14	0:40:07	Lunar calibration maneuver.
2019/05/04	23:19:59	2019/05/04	23:23:01	0:03:02	Delta-V maneuver.

Present

姿勢変動/データ欠損を伴う運用の計画と実績を記載

G-Portalから提供している情報

- 1) 運用情報 = イベント情報/SGLIデータ欠損情報
- 2) プロダクト情報 = 調査中の案件リスト
- 3) データ利用に関わるFAQ = FAQ

●SGLI Missing Data List

Here shows total missing information of GCOM-C/SGLI data during routine observation phase (from March 28, 2018).

Table 1. Missing Data List

Sensor	From(UT)	To(UT)	duration hh:mm:ss	Comments (※ : relationship with Table 2.)
IRS (SWI)	2019/06/19 02:19:06	2019/06/19 02:19:06	0:00:01	Packet loss
VNR (NP)	2019/02/02 08:21:44	2019/02/02 10:55:26	2:33:42	Tentative stop of POL-tilt operation(※2)
VNR (POL)	2019/02/02 08:19:54	2019/02/02 11:00:50	2:40:56	Tentative stop of POL-tilt operation(※2)
VNR (NP)	2019/01/12 14:44:43	2019/01/12 14:44:44	0:00:01	Packet loss
VNR (POL)	2019/01/06 00:57:14	2019/01/06 00:57:15	0:00:01	Packet loss
VNR (NP)	2018/12/28 14:35:53	2018/12/28 14:35:54	0:00:01	X-downlink data decode loss
VNR (NP)	2018/12/28 14:27:22	2018/12/28 14:27:23	0:00:01	X-downlink data decode loss
IRS (TIR)	2018/12/28 14:27:21	2018/12/28 14:27:22	0:00:01	X-downlink data decode loss
VNR (NP)	2018/08/04 10:06:55	2018/08/04 12:40:28	2:33:33	Tentative stop of POL-tilt operation(※1)

観測計画と異なる運用(欠損や観測条件の変更)を記載

G-Portalから提供している情報

- 1) 運用情報 = イベント情報/SGLIデータ欠損情報
- 2) プロダクト情報 = 調査中の案件リスト
- 3) データ利用に関わるFAQ = FAQ

調査中案件リスト（詳細な情報が必要な場合には「サポート・問い合わせ」よりサポートデスクまでお問い合わせください。）

更新日：2019/7/26

No.	プロダクト不正（標準／準リアル）	対象プロダクト		備考
		L1	高次	
PRDT_0003	アトリビュート四隅緯度経度の不正	プロダクトVer：1001、1002、1003、1004、1005 センサ：VNR、IRS	左記を入力としたL2シーンプロダクト	
PRDT_0005	タイルプロダクトの観測データ抜け・歪み・位置ずれ	-	L2タイルプロダクトの一部 上記を入力としたL3プロダクト	FAQ：Q15
PRDT_0006	未作成プロダクト	L1Bプロダクトの一部 (6月15日)	LTOA、CLPRCの一部 左記と上記を入力としたL2、L3プロダクト	
PRDT_0015	一部プロダクトのグラニューID不整合（LTOAF）	-	2019年5月14日～	
PRDT_0016	L3プロダクト（8日統計）のグラニューID不整合	-	2018年12月27日～31日	

No.	G-Portalデータ提供	対象プロダクト		備考
		L1	高次	
GPTL_0001	Web画面から小サイズプロダクトのダウンロード不可	プロダクトサイズ(MB)が「0」のプロダクト	プロダクトサイズ(MB)が「0」のプロダクト	FTPからのダウンロードは可
GPTL_0002	雲量情報(%)の不正	全てのプロダクト	統計プロダクトを除くL2プロダクト	
GPTL_0003	雲量情報(%)の未掲載	2018年1月からの再処理プロダクト 2019年5月14日～26日のプロダクト	2018年1月からの再処理プロダクト 2019年5月14日～26日のプロダクト	
GPTL_0005	品質情報の不正	一部の低解像度プロダクト	影響プロダクトなし	

No.	G-Portal加工処理	対象プロダクト		備考
		L1	高次	
DMND_0001	Geotiff変換後プロダクトの3km以内の位置ずれ(Q) 他公認プロダクトのずれ量は調査中	全てのプロダクト	全てのプロダクト	

提供プロダクト等に残存している不具合を記載

G-Portalから提供している情報

- 1) 運用情報 = イベント情報/SGLIデータ欠損情報
- 2) プロダクト情報 = 調査中の案件リスト
- 3) データ利用に関わるFAQ = FAQ

トップ > サポート

 サポート

ユーザマニュアル

一括ダウンロード用のSFTPの操作方法を含めたG-Portalの操作に関するユーザマニュアルは[こちら（マニュアルへのリンク）](#)から見るすることができます。各プロダクトのフォーマット等の文書類は、プロダクト情報・運用情報／ツール・ドキュメントをご参照ください。

FAQ

[共通](#)
[GCOM-W1プロダクト](#)
[Aquaプロダクト](#)
[ADEOS-II プロダクト](#)
[GCOM-Cプロダクト](#)

過去の問合せ内容等を基に、プロダクトの使用方法やデータ提供に係るFAQを記載

G-Portal掲載のFAQ

G-Portal 地球観測衛星データ提供システム

まずは目的のデータがあるか検索(どなたでも検索できます)
※ダウンロードには登録が必要です。

- 物理量から検索
降水・海色・植生などから絞り込み
- 衛星からの検索
衛星・センサ・レベルから絞り込み
- 直接ダウンロード
FTP等でのダウンロード方法

- ログイン
- ユーザ登録
- 初めての方へ
- プロダクト情報・運用情報
- ツール・ドキュメント
- サポート・問い合わせ
- お知らせ

サイト内検索:

Google Custom Search

日本語 ENGLISH

G-Portalは、様々な分野で利用いただくことを目的とした地球観測データを無償で提供しています。

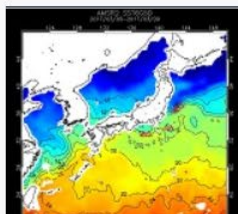
(2019.07.26)

際には、ご配慮頂けますようお願い申

Aqua/AMSR-E_AMSR2 Format (HDF5) の高次
_AMSR2 Format (HDF5) の高次 (L2及びL3version8)プロダク

G-Portal TOP画面からも
FAQページを開けます。

利用



地域社会に役立つ地球観測衛星（漁業編）



GCOM-C/SGLI, GCOM-W/AMSR2



海面水温



データ利用に関するFAQ

※最新情報はG-Portal FAQページをご覧ください。
<https://gportal.jaxa.jp/gpr/information/support>

データ利用に関するFAQ

No.	質問	回答
1	よく使用されるプロダクトは何か	L1B、SST、LST、CHLA、NDVIがよく使用されます。綺麗なRGBカラーの作成が目的である場合、L1BよりL2 RSRFプロダクトの使用を推奨します。
2	データ利用ハンドブックより平易な資料はあるか	本資料にて、データ利用初心者向けの情報を掲載しています。
3	物理量換算の方法を知りたい	物理量換算方法は資料4をご覧ください。
4	画像化する際の適切なレンジや色合いを知りたい	資料4で参考文献を紹介しています。
5	幾何投影方法を知りたい	幾何投影方法は資料4をご覧ください。
6	HDF5フォーマットをGeoTIFFやJPGフォーマットに変換したい	ユーザツールを使用すると、HDF5フォーマットからGeoTIFFやJPGフォーマット等への変換が可能です。ただし初心者向けの個人用ツールのため大量処理には不向きです。
7	画像をモザイクする際に生じる色ムラの回避方法	RSRFのプロダクトを使用すると、大気に起因する色ムらを回避できます。詳細は資料4をご覧ください。

データ利用に関するFAQ

No.	質問	回答
8	幾何精度	2018年12月時点で「幾何<0.5pix」を達成済みです。解像度Qでは125m以下の幾何精度に相当します。
9	日本周辺データの絞り込み方法	グラニュールIDのシーン・パス・タイル番号で絞り込み可能です。
10	日本域のFTP取得タイミング (1日1回の時刻指定)	標準プロダクトは観測から1-2日程度、準リアルプロダクトは観測から6時間程度で全数を作成しています。
11	以前存在したL1Bが消えた	2018年1月-2019年6月のL1Bプロダクトは再公開に向けて準備中です。
12	G-Portal加工要求やユーザツールで変換したGeoTIFFプロダクト等に位置ずれが生じる	フォーマット変換において、位置ずれの問題を確認しており修正中です。フォーマット変換機能をご利用の際はご注意ください。
13	打上げ直後のプロダクトが存在しない	打ち上げ直後(2018/1/1-2018/3/28)は試験のため通常と異なる運用をしており、未作成プロダクトや、欠損が発生している場合があります。

データ利用に関するFAQ

[参考] G-Portalのディレクトリと、格納プロダクト情報の一覧
資料3 付録1としてpdfファイルを提供

G-Portal FTP階層構造	G-Portal ツリー階層構造	GCOM-C/SGLIプロダクト											
		作成単位	統計期間			レベル		プロダクトID			標準(G)/ 準り(S/L)	保存日数 (即時)	備考
standard/GCOM-C/GCOM-C.SGLI													
L1A	L1A-可視赤外(非偏光) L1A-可視赤外(偏光) L1A-短波長赤外、熱赤外	シーン 半周回	-	-	-	1A		VNR	POL	IRS	G	無期限	Scene
L1B	L1B-可視赤外(非偏光) L1B-可視赤外(偏光) L1B-短波長赤外、熱赤外	シーン 半周回	-	-	-	1B		VNR	POL	IRS	G	無期限	Scene
L2.ATMOS.ARNPNP	L2-海洋上・陸上エアロゾル (近紫外)	全球	01D	-	-	L2	-	ARNPNP			G	無期限	Tile
L2.ATMOS.ARNPNP.Global	L2全球-海洋上・陸上エアロゾル (近紫外)	全球	01D	-	-	L2	-	ARNPNP			G	無期限	Global
L2.ATMOS.ARNPL	L2-陸上エアロゾル (偏光)	全球	01D	-	-	L2	-	ARNPL			G	無期限	Tile
L2.ATMOS.ARNPL.Global	L2全球-陸上エアロゾル(偏光)	全球	01D	-	-	L2	-	ARNPL			G	無期限	Global
L2.ATMOS.CLFG	L2-雲フラグ	全球	01D	-	-	L2	-	CLFG			G	無期限	Tile
L2.ATMOS.CLFG.Global	L2全球-雲フラグ	全球	01D	-	-	L2	-	CLFG			G	無期限	Global
L2.ATMOS.CLPR	L2-雲種別雲量・雲頂温度・雲頂高度・水雲光学の厚さ・水雲有効半径・氷晶雲光学の厚さ	全球	01D	-	-	L2	-	CLPR			G	無期限	Tile
L2.ATMOS.CLPR.Global	L2全球-雲種別雲量・雲頂温度・雲頂高度・水雲光学の厚さ・水雲有効半径・氷晶雲光学の厚さ	全球	01D	-	-	L2	-	CLPR			G	無期限	Global
L2.ATMOS.LCLRLR.Global	L2全球-大気上端放射輝度(晴天)	全球	01D	-	-	L2	-	LCLRLR			G	無期限	Global
L2.ATMOS.LTOA.Global	L2全球-大気上端放射輝度	全球	01D	-	-	L2	-	LTOA			G	無期限	Global
L2.CRYOS.OKID	L2-オホーツク海海水分布	シーン	-	-	-	L2	-	OKID			G	31 日	Scene
L2.CRYOS.SGSL.Statistics	L2統計-浅層積雪粒径	全球	-	08D	01M	L2	-	SGSL			G	無期限	Tile
L2.CRYOS.SICE	L2-積雪・海水分布	陸・全球	01D	-	-	L2	-	SICE			G	無期限	Tile
L2.CRYOS.SICE.Statistics	L2統計-積雪・海水分布	全球	-	08D	01M	L2	-	SICE			G	無期限	Tile
L2.CRYOS.SIPR	L2-雪氷面温度・浅層積雪粒径	陸・全球	01D	-	-	L2	-	SIPR			G	無期限	Tile
L2.CRYOS.SIST.Statistics	L2統計-雪氷面温度	全球	-	08D	01M	L2	-	SIST			G	無期限	Tile
L2.LAND.AGB_	L2-地上部バイオマス・植生ラフネス指数	陸	01D	-	-	L2	-	AGB_			G	無期限	Tile
L2.LAND.AGB_.Statistics	L2統計-地上部バイオマス	陸	-	08D	01M	L2	-	AGB_			G	無期限	Tile
L2.LAND.EVI_.Statistics	L2統計-拡張植生指数	陸	-	08D	01M	L2	-	EVI_			G	無期限	Tile
L2.LAND.FPAR.Statistics	L2統計-光合成有効放射吸収率	陸	-	08D	01M	L2	-	FPAR			G	無期限	Tile
L2.LAND.GEOI.Statistics	L2統計-陸域反射率	陸	-	08D	01M	L2	-	GEOI			G	無期限	Tile
L2.LAND.GEOP.Statistics	L2統計-陸域反射率	陸	-	08D	01M	L2	-	GEOP			G	無期限	Tile
L2.LAND.GEOV.Statistics	L2統計-陸域反射率	陸	-	08D	01M	L2	-	GEOV			G	無期限	Tile
L2.LAND.LAI_	L2-光合成有効放射吸収率・葉面積指数	陸	01D	-	-	L2	-	LAI_			G	無期限	Tile
L2.LAND.LAI_.Statistics	L2統計-葉面積指数	陸	-	08D	01M	L2	-	LAI_			G	無期限	Tile

GCOM-Cプロダクト提供サービスの違い

2019年09月26日 現在

	G-Portal ※1		JASMES (JAXA研究目的サイト ※2)
	標準サービス (登録ユーザ)	準リアルサービス (特別ユーザ ※5)	
対象プロダクト	<u>全標準プロダクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ・精度検証済み ・輝度値プロダクト (L1) ※6 ・物理量プロダクト (L2) ※7 ・統計値プロダクト (L3, 他) 	<u>準リアルタイムプロダクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ・精度より、リアルタイム性を優先 ・輝度値プロダクト (L1B) ・<u>物理量プロダクト (L2) の一部</u> ・観測後 7日間のみ提供 	<p>NDVIなど 一部プロダクトは対象外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等緯度経度に幾何投影したプロダクト
提供フォーマット	HDF5フォーマット	HDF5フォーマット <u>(ダウンロード毎にファイル作成 ※4)</u>	LST等タイルプロダクト は、同一タイルで 複数ファイル作成
ダウンロード方法	G-Portal WEB画面 FTP-get SFTP-get	SFTP-get	FTP-get
観測から提供準備完了 までの時間 (※3)	観測日から1~2日程度 (確認中)	観測時刻から6時間程度 (確認中)	観測時刻から6時間程度+ α (確認中)
ユーザ登録手続き	Web登録	Web登録 (標準サービスへの登録) + 申請書の提出・承認	Web登録

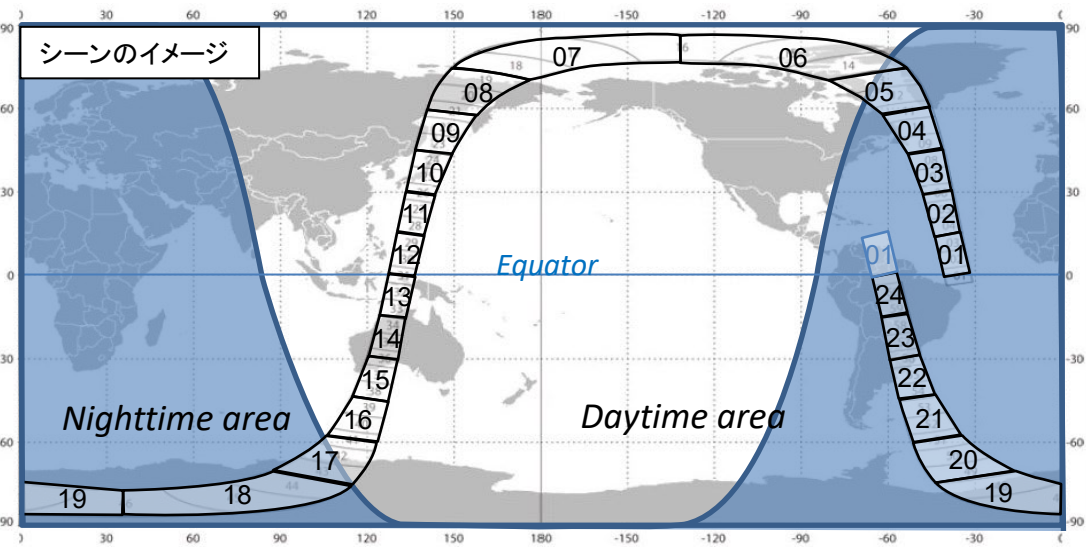
投影タイプ	プロダクト				
	L1	大気	海洋	陸	雪氷
シーン	L1 250m/500m/1km		L2 海洋 250m/500m/1km		L2 雪氷 オホーツク海水分布 250m/500m/1km
全球EQA (sinusoidal Equal Area)		L2 大気 全球 1/24度 (4km)			
タイル		L2 大気 250m/1km		L2 陸 250m/1km	L2 雪氷* 250m/1km
				L2統計 陸 250m/1km	L2統計 雪氷* 1km
1次元 全球EQA		L3 Bin 大気 1/12度(8km)	L3 Bin 海洋 1/24度(4km)	L3 Bin 陸 1/24度(4km)	L3 Bin 雪氷* 1/24度(4km)
全球EQR (EQuiRectangular)		L3 Map 大気 1/12度(8km)	L3 Map 海洋 1/24度(4km)	L3 Map 陸 1/24度(4km)	L3 Map 雪氷* 1/24度(4km)
ポーラーステレオ					L3 Map 雪氷* 1/24度(4km)

*オホーツク海水分布を除く

シーン・タイル・PSは地球の一部の観測データが含まれます。
全球EQA、全球EQA(1次元)、全球EQRは全球の観測データが含まれます。
各プロダクトのグラニューールID定義の詳細はQ3の回答をご覧ください。

- ◆ シーン L1 VNR-NP(非偏光)、IRS(赤外)
- ◆ シーン L2 海洋圏プロダクト、雪氷圏プロダクト(OKIDのみ)

- ・「昇交点を起点とした衛星の1周回を緯度引数から24等分した範囲」を1シーンと定義する。
- ・解像度切り替わりやセンサOFFがある場合、シーンを複数プロダクトに分割して出力することがある。
- ・グラニューールIDのシーン番号は、昇交点から順に「01~24」の数字が記載される。
- ・IRSのプロダクトは、各バンドの解像度の組み合わせを複数持つ。
- ・データは観測時刻の順にプロダクトへ格納されるため、昇交軌道(南から北)のプロダクトは画像上端が南、画像下端が北となる。



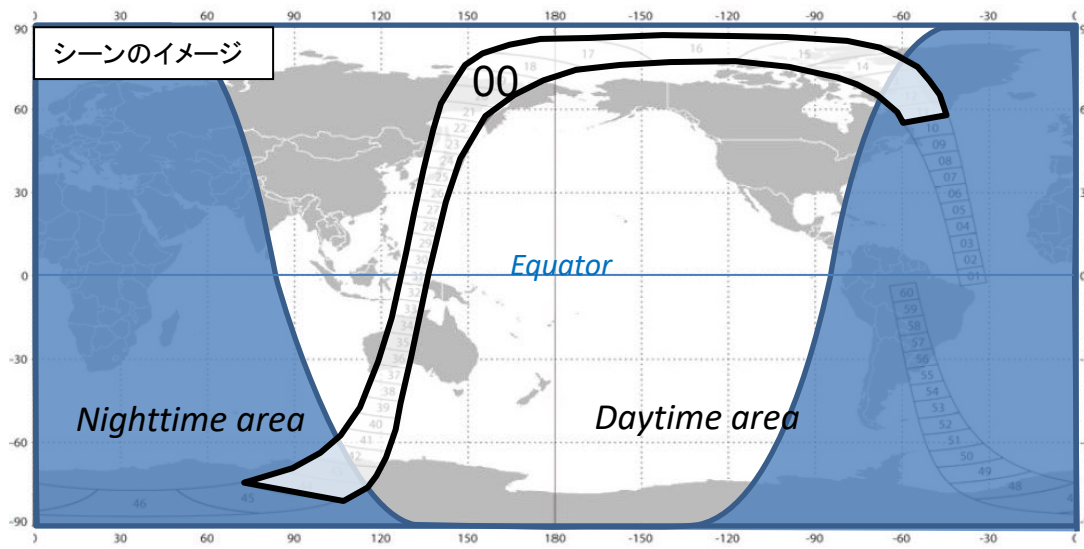
VNR-NPおよびIRS
シーン定義

プロダクト 種別	VNR-NP プロダクト	VNR-PL プロダクト	IRS プロダクト		
			SW01,02,04 分解能	SW03 分解能	TIR 分解能
K	1km	1km	1km	1km	1km
			OFF		1km
			1km	1km	OFF
H	—	—	1km	1km	500m
			OFF		500m
Y	—	—	1km	1km	250m
X	—	—	1km	250m	1km
M	—	—	1km	250m	500m
			1km	250m	250m
Q	250m	—	OFF		250m
			1km	250m	OFF
			1km	1km 低解像度 リサンプリング プロダクト	1km 低解像度 リサンプリング プロダクト
L	1km 低解像度 リサンプリング プロダクト	—	1km	1km 低解像度 リサンプリング プロダクト	1km
			1km	1km	1km 低解像度 リサンプリング プロダクト

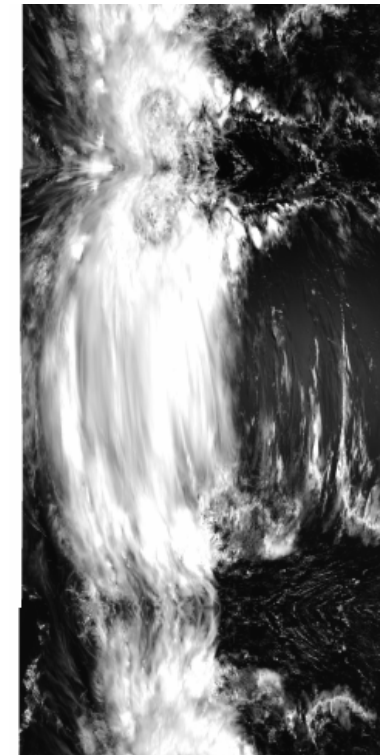
解像度組合せ

◆ シーン L1 VNR-PL(偏光)

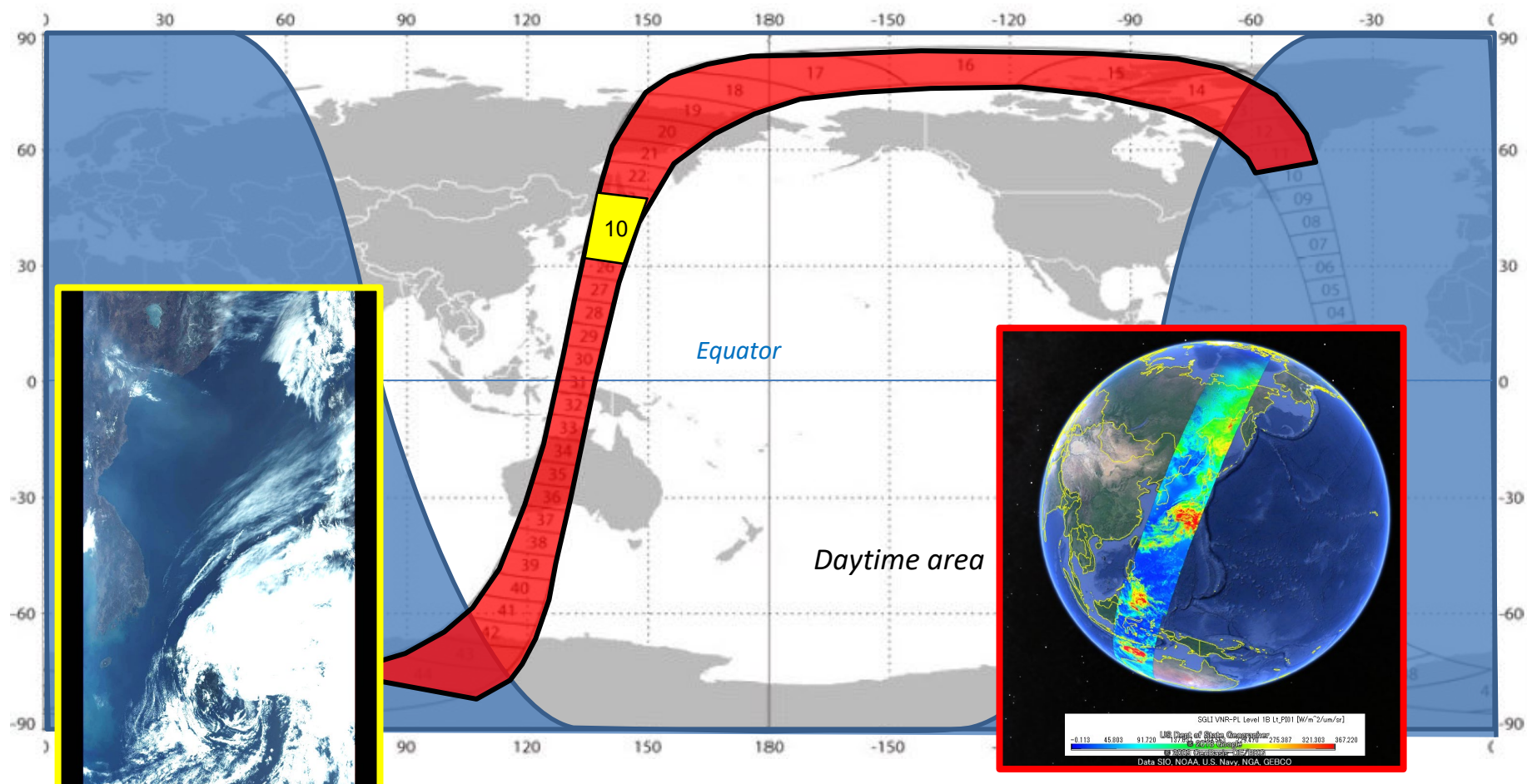
- ・VNR-PLは「衛星1周回中の日照観測域をすべて含む範囲」を1シーンと定義する。
- ・緯度0度付近はチルト駆動中のため、画像に不連続な領域や引き伸ばされたように見える領域が存在する。
- ・グラニューールIDのシーン番号はすべて「00」と記載される。



VNR-PL シーン定義



チルト駆動中の画像

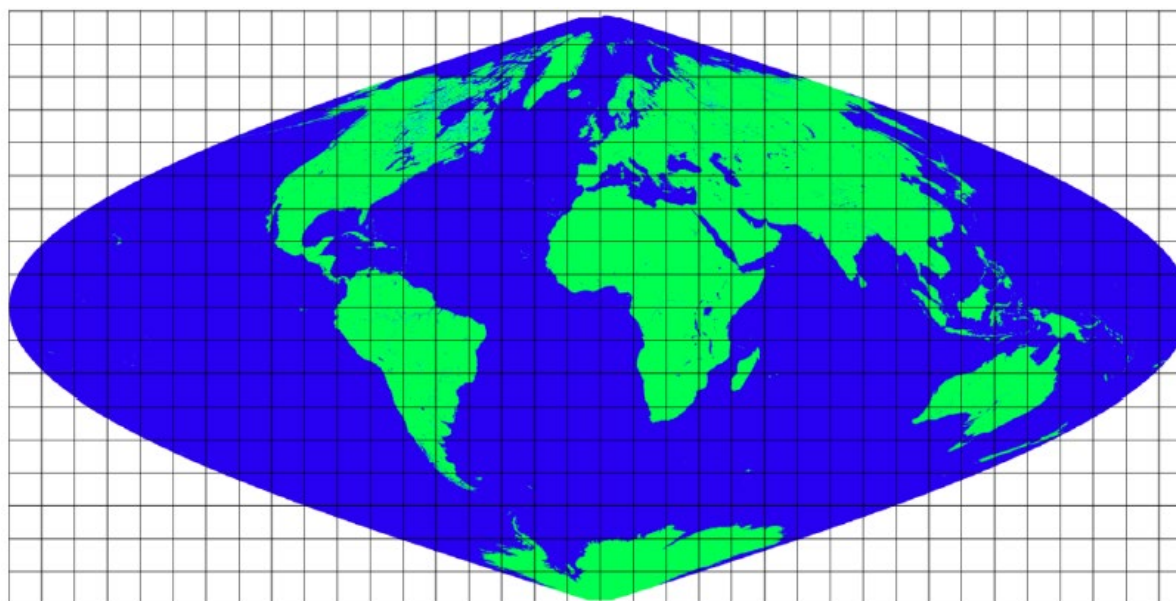


VNR-NPおよびIRS
の1シーン

VNR-PLの1シーン
(Google Earth に表示)

◆ 全球EQA (sinusoidal equal area)

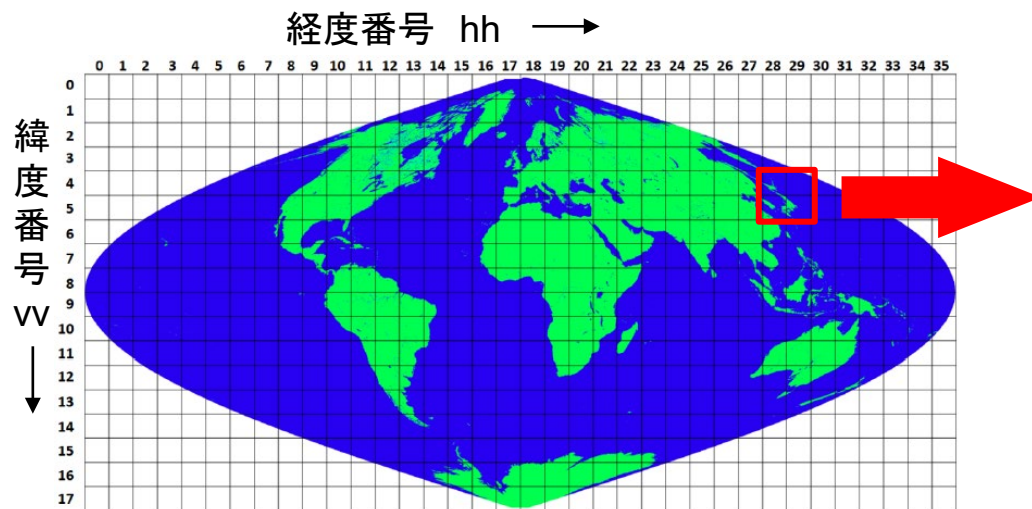
- ・EQA (sinusoidal equal area)は、緯線を等間隔の平行な直線、経線を正弦曲線(中心経線は緯線と直交する直線)で表した正積図法である。
- ・「画像中心の緯度経度を0度としたEQA図法」を全球EQRと定義とする。
- ・衛星進行方向毎に、1日2プロダクト (A: アセンディング /D: ディセンディング) を作成する。
- ・グラニューールIDの処理レベルは「L2」、投影法は「A」と記載される。



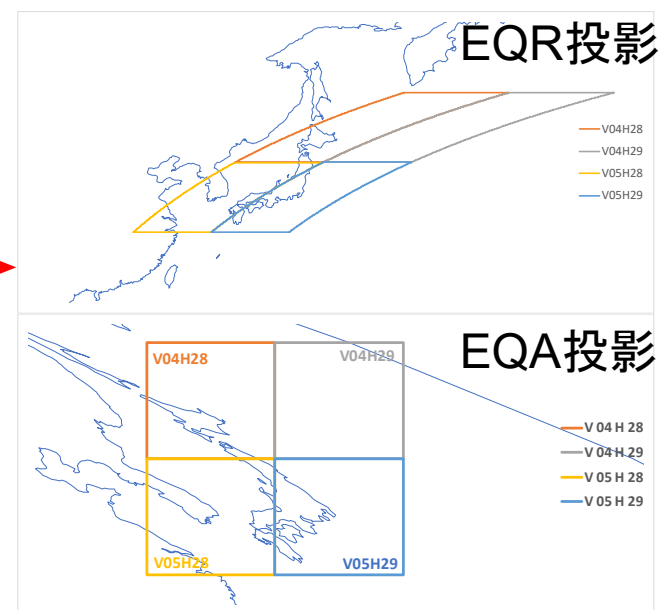
全球EQA

◆ タイル

- ・「**全球EQAを緯度10度毎、赤道上経度10度毎に分割した範囲**」を1タイルと定義する。
- ・グラニューールIDのタイル番号は、緯度番号(vv)と経度番号(hh)を順に並べ「0000-1735 (vvhh)」の4桁の数字で表記する。
- ・標準プロダクトは、衛星進行方向毎に各タイル1日2プロダクト(A/D)を作成する。
- ・準リアルタイムプロダクトは、データダウンリンク毎にプロダクトを作成する。このため同一タイルのプロダクトが1日に複数枚作成されることがある。これらはグラニューールID末尾に「000～999」の3桁のシーケンス番号を付与して区別する。



タイル定義



日本周辺タイル

◆ 全球EQA (1次元) (EQA bin)

・「4kmまたは8km相当の等面積格子を、緯度-90度から+90度、経度-180度から+180度の順に1次元に並べたもの」を全球EQA (1次元)と定義する。

・緯度方向は、解像度Cの場合は1/12 degごと2160列、解像度Fの場合は1/24 degごと4320列に分割される。

・緯度方向の列数をA、ある列の中心緯度が Φ である場合、経度方向のbinnedグリッドの数 Nrowは、以下となる。

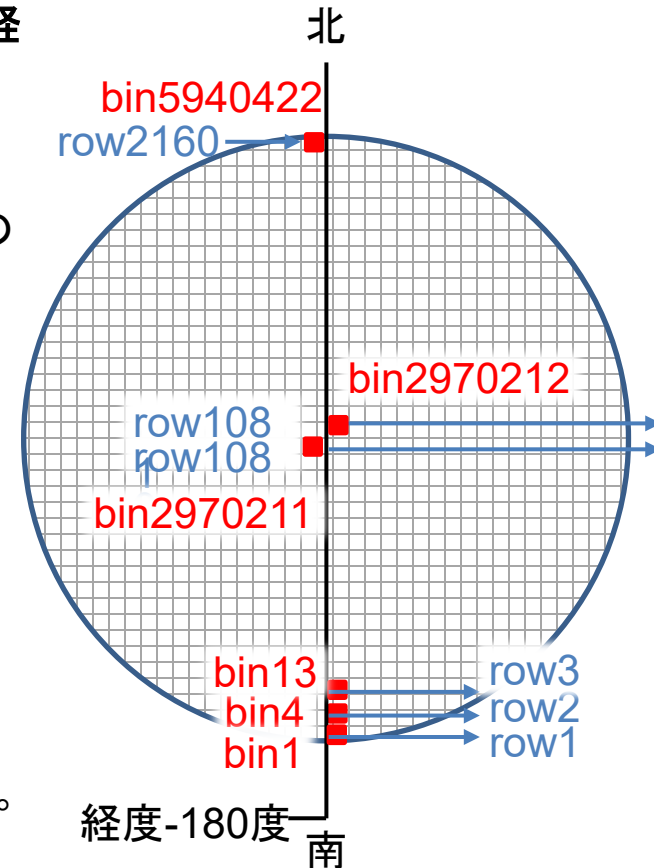
$$Nrow = [2 \times A \times \cos \Phi] \quad ([] \text{は四捨五入を表す})$$

(Cの例 : $N1=3, N2=9, \dots, N1080=4320, \dots, N2160=3$)

(Fの例 : $N1=3, N2=9, \dots, N2160=8640, \dots, N4320=3$)

・衛星進行方向毎に、統計期間あたり2プロダクト(A/D)を作成する。

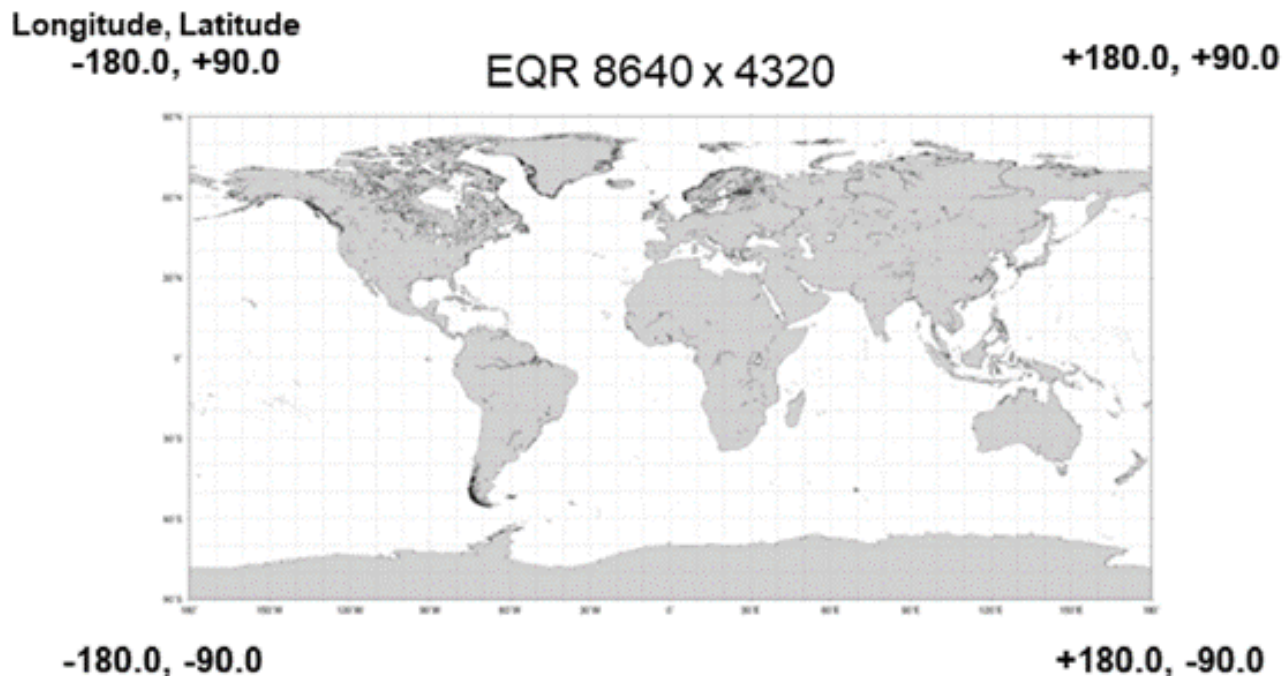
・グラニューールIDの処理レベルは「3B」、投影法は「X」と記載される。



全球EQA(1次元)定義
分解能C (1/12deg)の場合

◆ 全球EQR

- ・「緯度-90度から+90度、経度-180度から+180度の等緯度経度図法」を全球EQRと定義する。
- ・グリッド間隔は緯度経度ともに、解像度Cの場合は1/12 deg、解像度Fの場合は1/24 degとする。
- ・衛星進行方向毎に、統計期間あたり2プロダクト(A/D)を作成する。
- ・グラニューールIDの処理レベルは「3M」、投影法は「D」と記載される。

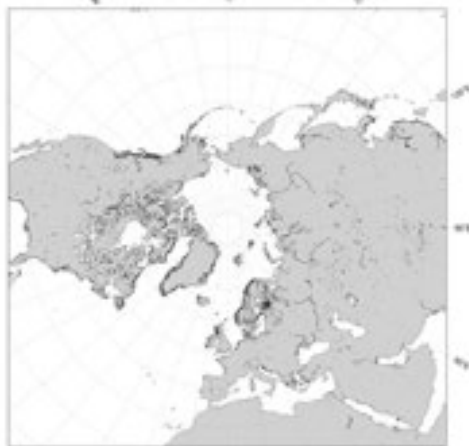


全球EQR定義

◆ PS

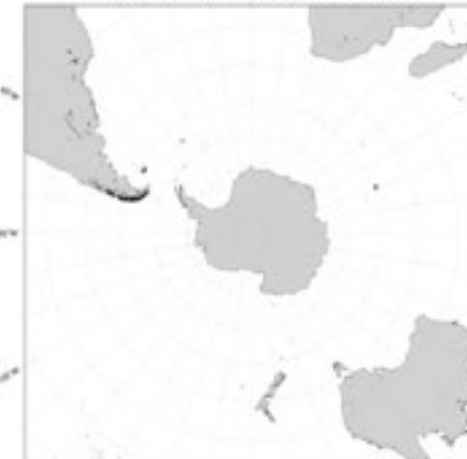
- ・「北極点と南極点を中心としたポーラーステレオ投影」をPSと定義する。
- ・グラニューールIDの処理レベルは「3M」、投影法は極により「N : 北極」または「S : 南極」と記載される。
- ・衛星進行方向毎と極毎に、統計期間あたり4プロダクト(A/D、N/S)を作成する。

Longitude, Latitude
-135.0, +6.032568 +135.0, +6.032568
NPS 3500 x 3500



-45.0, +6.032568 +45.0, +6.032568
PS-N定義

Longitude, Latitude
-45.0, -6.032568 +45.0, -6.032568
SPS 3500 x 3500



-135.0, -6.032568 +135.0, -6.032568
PS-S定義

Q3 グラニュールID定義

レベル1プロダクト



Byte	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41			
GID	G	C	1	S	G	1	_	Y	Y	Y	Y	M	M	D	D	H	H	m	m	s	P	P	P	S	S	_	L	L	x	x	_	K	K	K	m	r	_	a	p	p	p			
設定例	G	C	1	S	G	1	_	2	0	1	1	1	1	1	3	2	3	4	5	A	0	1	2	0	6	_	1	B	S	G	_	I	R	S	N	K	_	1	0	0	1			
項目	Satellite (fix)			Sensor (fix)			-	Year			Month		Day		Hour		min		sec	Path ※2			Scene ※3			-	Level ※8			Type ※9		-	Subsystem ※10			D/N ※11		resolution ※13		-	algorithm ver. ※14		parameter ver. ※15	
								Observation start UT ※1																																				

LL=1B KKK = VNR(VNR-NP), IRS(IRS), POL(VNR-PL) m = D(day),

N(night)

PPP = path number SS = scene number

r = VNR-NP : K(1km), Q(250m), L(ground averaged 1km)

VNR-PL : K(1km)

IRS:K(1km), Q(250m), L(ground averaged 1km), M,X,Y,H

resolution	Q	M	X	Y	H	K
SW01,02,04	1km					
SW03	250m			1km		
TIR	250m	500m	1km	250m	500m	1km

レベル2プロダクト(シーン) SST, NWLR, IWPR, OKIDのプロダクトが該当

Byte	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
GID	G	C	1	S	G	1	_	Y	Y	Y	Y	M	M	D	D	H	H	m	m	s	P	P	P	S	S	_	L	L	x	x	_	K	K	K	K	r	_	a	p	p	p
設定例	G	C	1	S	G	1	_	2	0	1	1	1	1	1	3	2	3	4	5	A	0	1	2	0	6	_	L	2	S	G	_	S	S	T	D	K	_	1	0	0	1

LL=L2 KKKK=Product ID

レベル2プロダクト(タイル・全球) 及びレベル3プロダクト

Byte	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
GID	G	C	1	S	G	1	_	Y	Y	Y	Y	M	M	D	D	m	t	t	t	_	g	A	A	A	A	_	L	L	x	x	_	K	K	K	K	r	_	a	p	p	p
設定例	G	C	1	S	G	1	_	2	0	1	1	1	1	1	3	D	0	1	D	_	T	0	5	2	7	_	L	2	S	G	_	C	L	F	G	Q	_	1	0	0	1
項目	Satellite (fix)			Sensor (fix)			-	Year			Month		Day		A/D ※4	Process time unit ※5			-	Mapping ※6	Area tile No. ※7			-	Level ※8		Type ※9		-	Product ID ※12			resolution ※13	-	algorithm ver. ※14		parameter ver. ※15				
								Observation start UT ※1																																	

LL =L2(tile,EQA), 3M(EQR, PS), 3B(EQA bin) KKKK =Product ID r=Q(250m), K(1km) ,F(1/24deg), C(1/12deg)

ttt=01D(1day), 08D(8day), 01M(1month) g=T(tile), A(EQA), X(EQA bin), D(EQR), N(PS-N), S(PS-S)

AAAA=tile number

m=A(Ascending), D(Descending)



Q3 グラニュールID定義

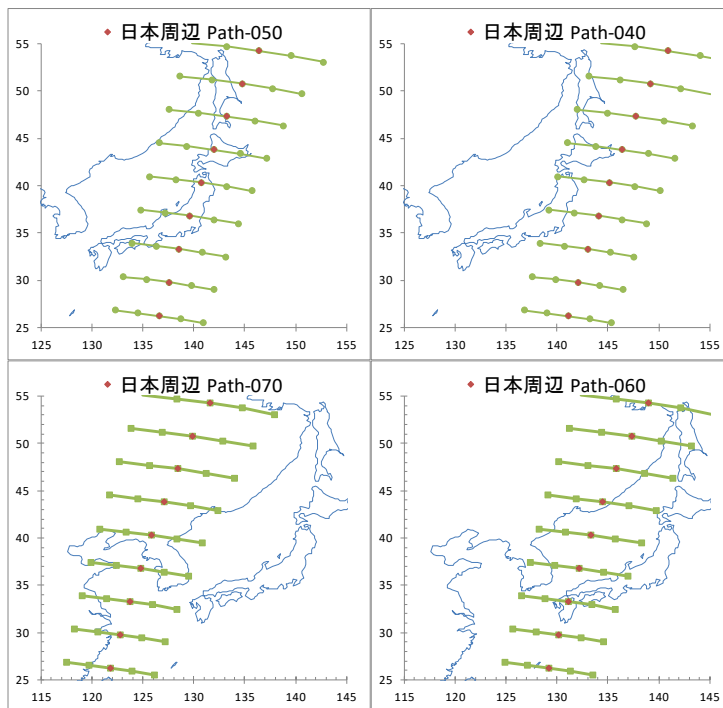
No.	GID	項目	概要	詳細			GC <small>COM</small> -Cデータ利用 ハンドブック参照先
				L1	L2 (シーン) SST, NWLR, IWPR, OKID	L2 (タイル・全球)、L3	
※1	YYYYMMDDHHmms	Observation start UT	観測開始時刻	UTC時系、秒数はアルファベット表記 プロダクト先頭ライン時刻とは不一致			秒数のアルファベット は表4-5参照
	YYYYMMDD		観測日	—	—	UTC時系	—
※2	PPP	Path	パス番号	1~485			4.1.3.3(1)参照
※3	SS	Scene	シーン番号	1~24			4.1.3.3(2)参照
※4	m	A/D	衛星進行方向	—	—	Ascending : A Descending : D	—
※5	ttt	Process time unit	統計日数	—	—	1日 : 01D 8日 : 08D 1月 : 01M	—
※6	g	Mapping	投影法	—	—	EQA (一次元) : X EQA : A EQR : D PS-N : N PS-S ; S Tile : T	4.1.5.1参照
※7	AAAA	Area tile No.	タイル番号	—	—	0000~1735 全球の場合は0000	4.1.4.1参照
※8	LL	Level	処理レベル	L1A : 1A L1B : 1B	L2	L2 : L2 L3Bin統計 : 3B L3Map統計 : 3M	—
※9	xx	Type	プロダクト種別	標準プロダクト : SG 準リアルタイムプロダクト (日本周辺) : SL 準リアルタイムプロダクト (全球) : SN			4.1.3.3(3)参照
※10	KKK	Subsystem	センサ種別	VNR-NP : VNR VNR-PL : POL IRS (SWIR+TIR) : IRS	—	—	—
※11	m	D/N	観測モード	日照観測 (Day) : D 日陰観測 (Night) : N	—	—	4.1.3.3(4)参照
※12	KKKK	product ID	物理量	—	4桁のプロダクトID		表4-7、表4-8、表4-9、 表4-14、表4-15 参照
※13	r	resolution	分解能	250m : Q 1000m : K 1000m(低解像度リサンプリング) : L IRSは他にH、Y、X、Mの4種が存在		250m : Q 1000m : K 1/24deg : F 1/12deg : C	4.1.3.3(5)参照
※14	a	algorithm ver.	アルゴリズムVer.	0~9、A~Z			—
※15	ppp	parameter ver.	パラメータVer.	000~999			—

●シーンプロダクトの場合(1/2)

GC1SG1_201908010036G**03408**_1BSG_VNRDQ_1006.h5

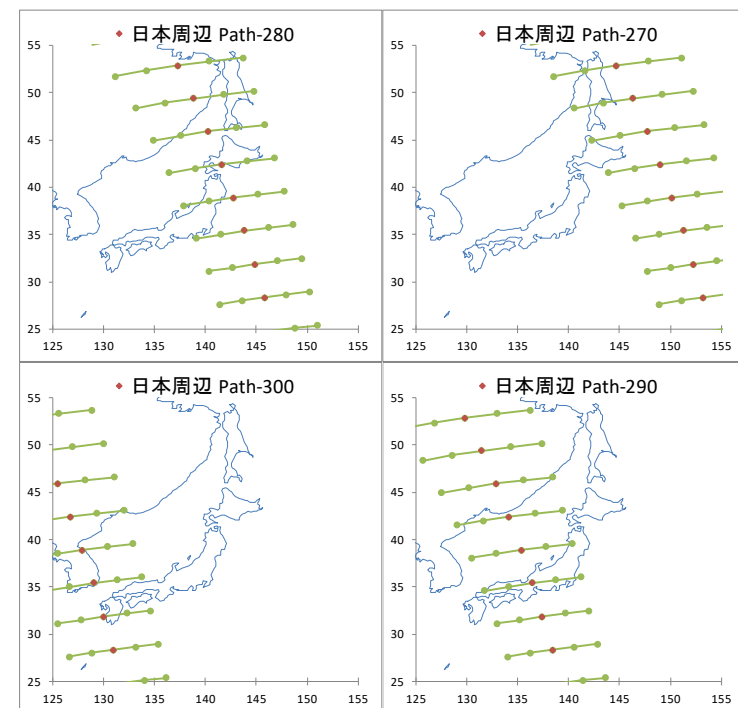
↑
パス番号

↑
シーン番号



日照 パス番号 020~080

シーン番号 08~11



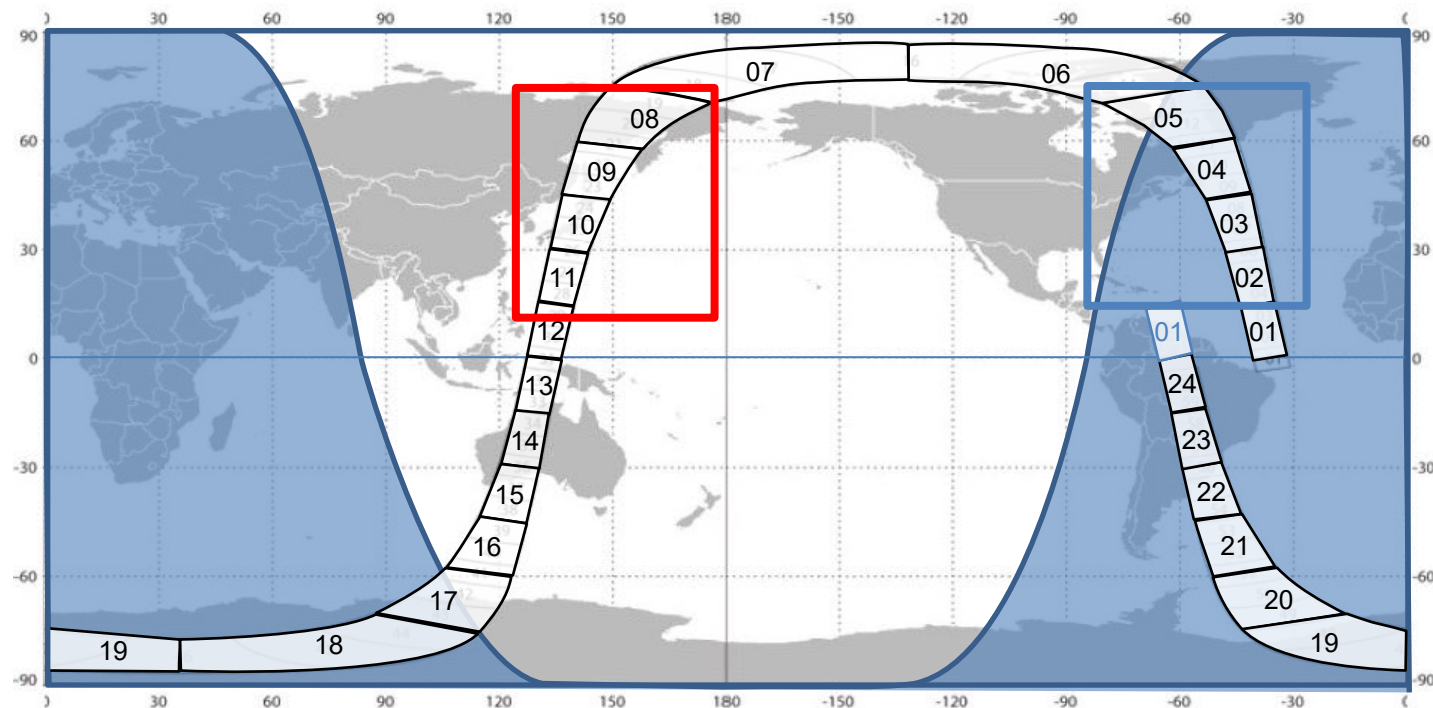
日陰 パス番号 250-320

シーン番号 02~05

●シーンプロダクトの場合(1/2)

GC1SG1_201908010036G03408_1BSG_VNRDQ_1006.h5

↑
シーン番号



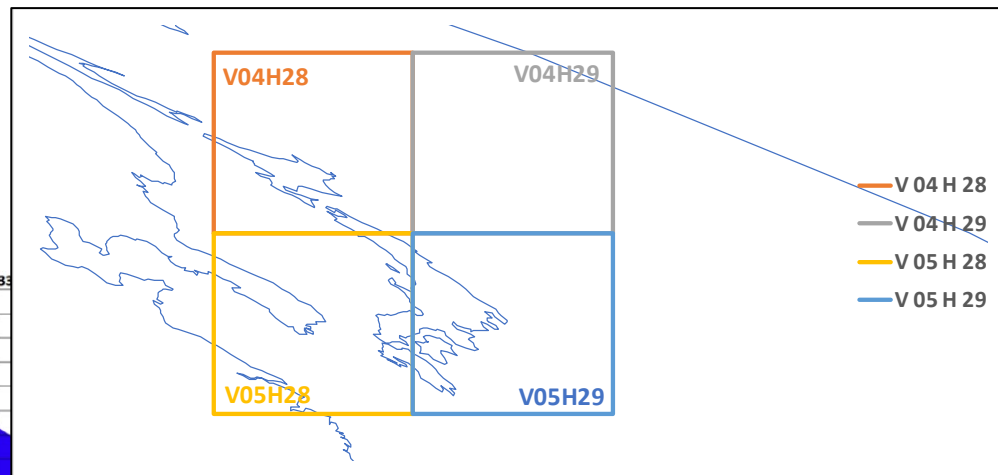
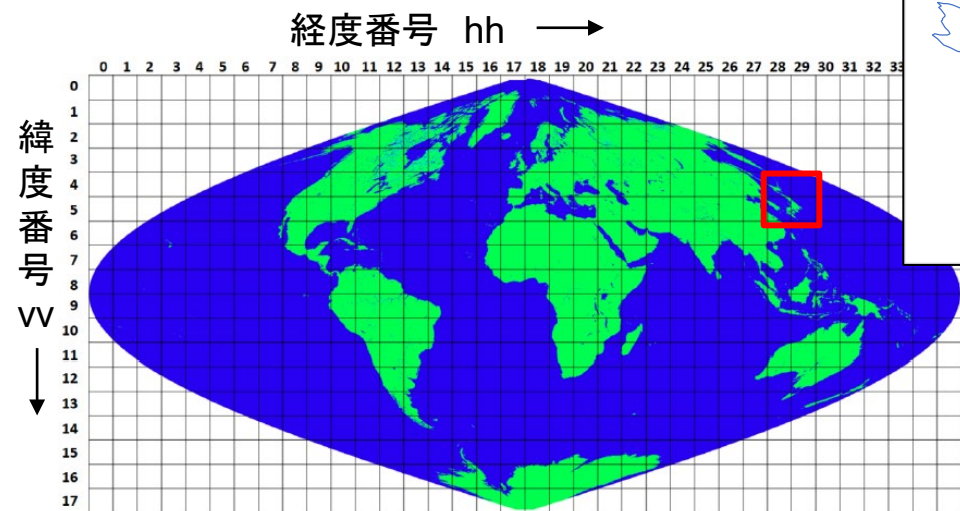
日照シーン番号:08-11

日陰シーン番号:02-05

●タイルプロダクトの場合

GC1SG1_20190731D01D_T0528_L2SG_LST_Q_1000.h5

↑
タイル番号

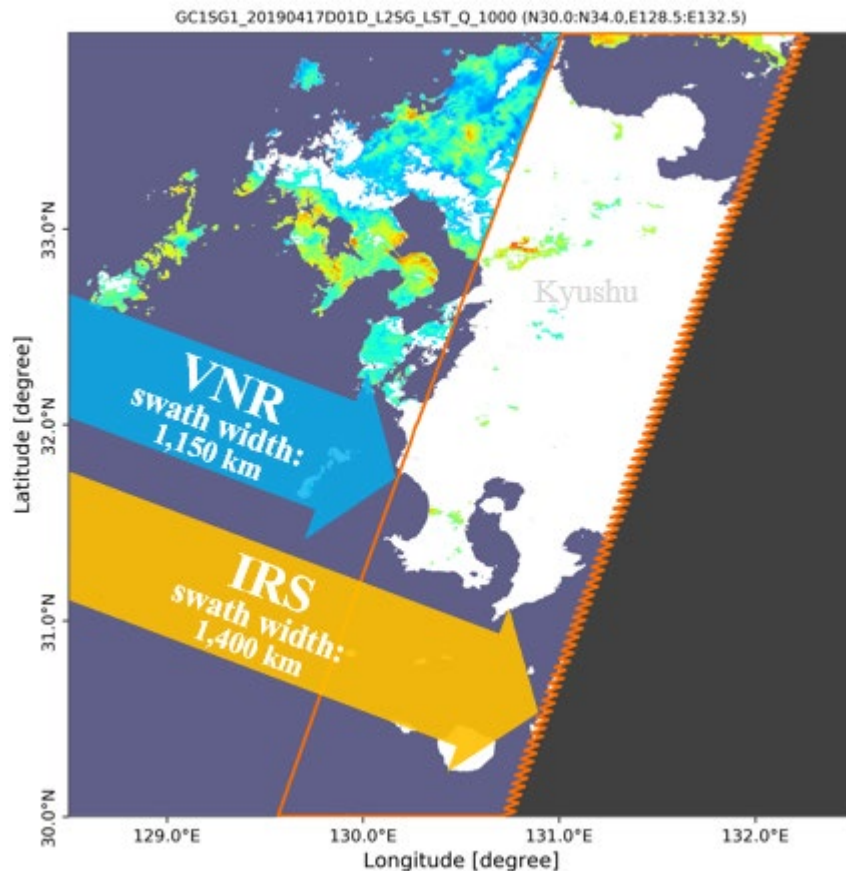


タイル番号: vvhh

経度番号: 04-06

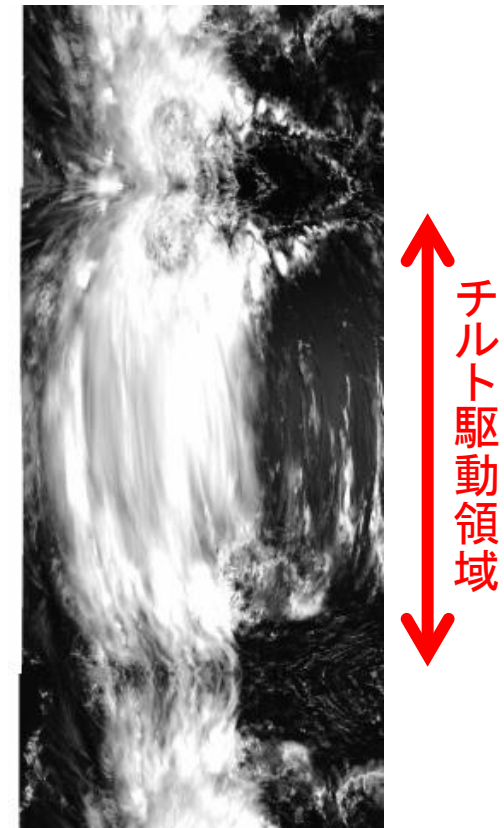
緯度番号: 27-29

◆センサ観測幅の違いによる不自然な線



SGLIIは2種類のセンサで観測を行います。両センサのデータを処理に使用するプロダクトでは、観測領域の端でIRSのデータしか使用できない領域が発生します。このような領域では雲判別等の精度が異なるため、上図の枠内のような境界線が生じることがあります。

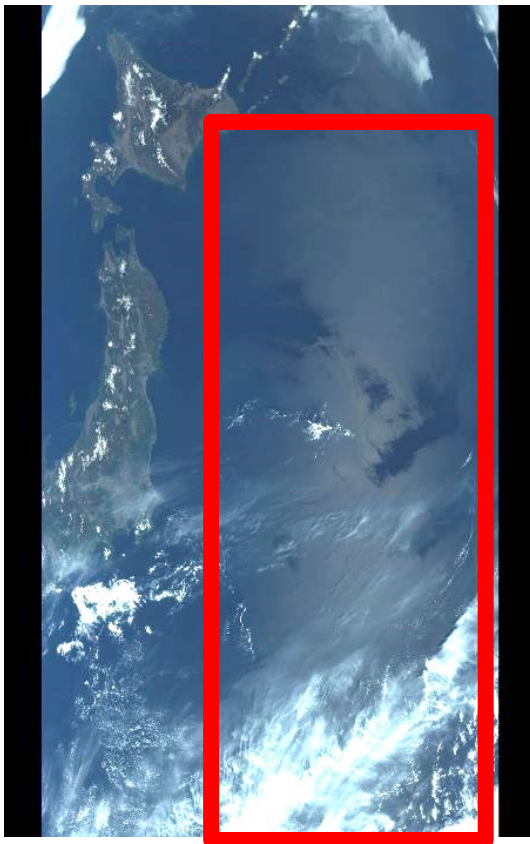
◆センサ観測方法によるデータ不連続



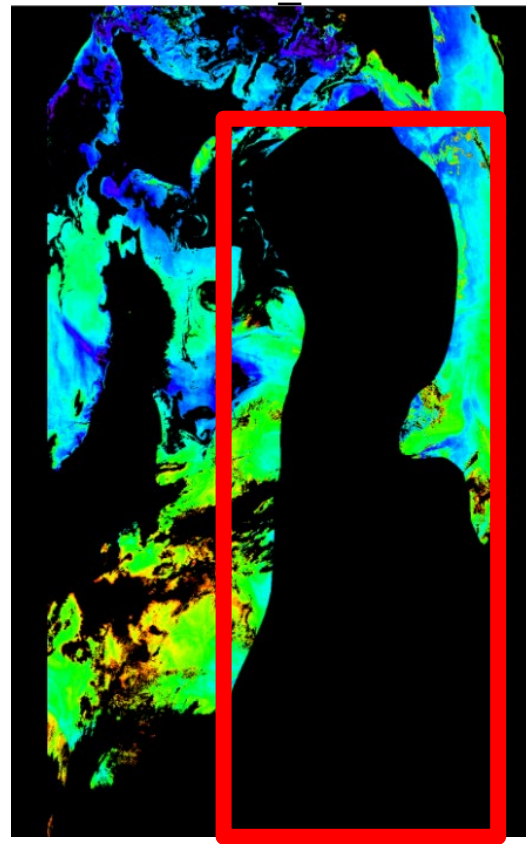
VNR-PLは太陽光反射の影響を避けるため、赤道付近で観測向きの変更(チルト駆動)を行います。チルト駆動中(シーン中心付近)には、上図のように不連続な領域や引き伸ばされたように見える領域が存在します。

◆観測地点における太陽光の反射条件による欠損

RGB



NWLR/NWLR_380

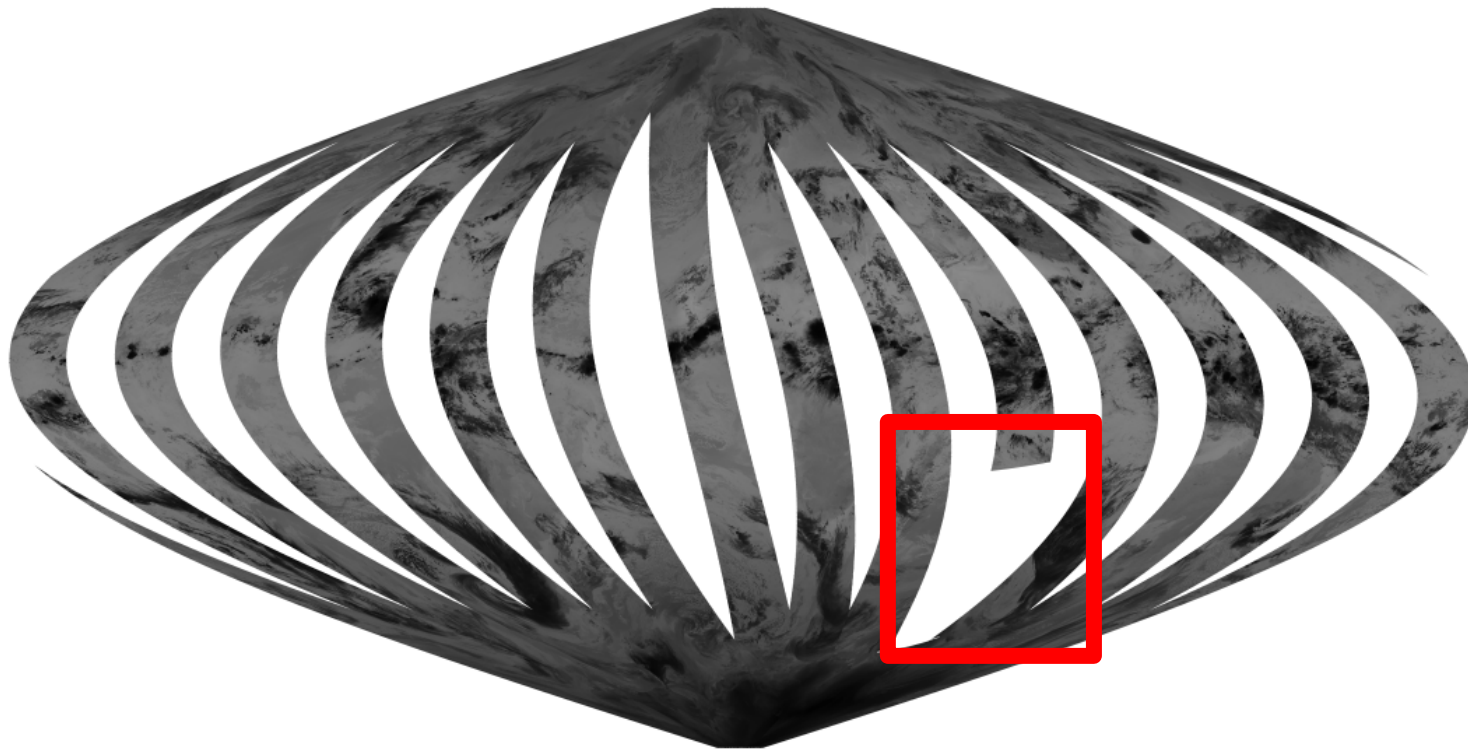


低緯度帯または中緯度帯の春から夏にかけて、GCOM-C/SGLIでは太陽光の強い海面反射（サングリント）が観測されます（左図赤枠内）。現在のNWLRとIWPRプロダクトではこの領域内の正確な物理量を算出することが困難なため、右図のように欠損として処理されます。

JASMES(https://www.eorc.jaxa.jp/cgi-bin/jasmes/sgli_nrt/index.cgi)では研究目的の試行版として、2019年6月1日分より上記の欠損を改善したプロダクトを提供しております。（日本周辺のみ）

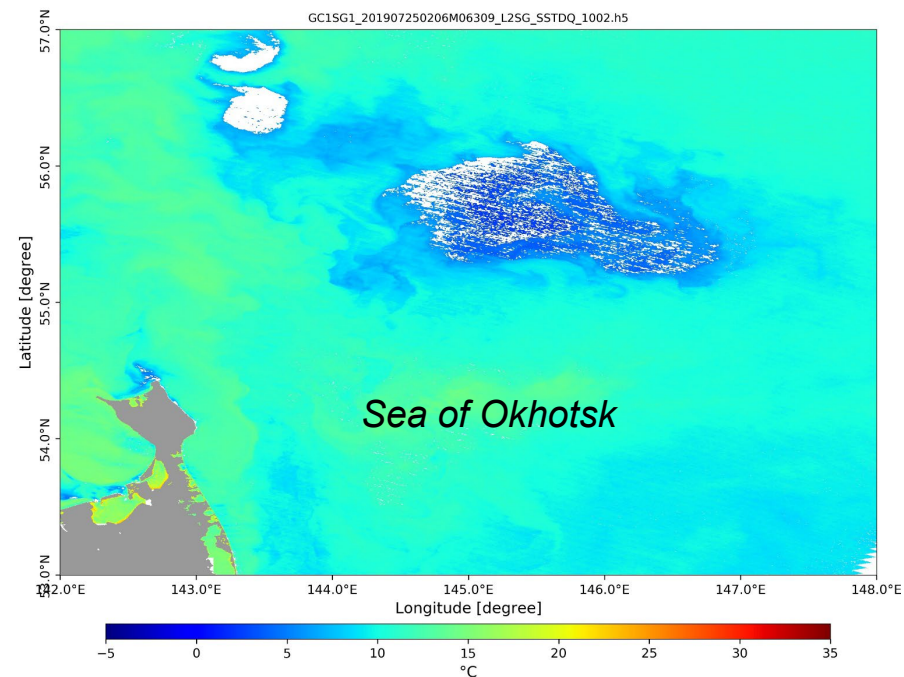
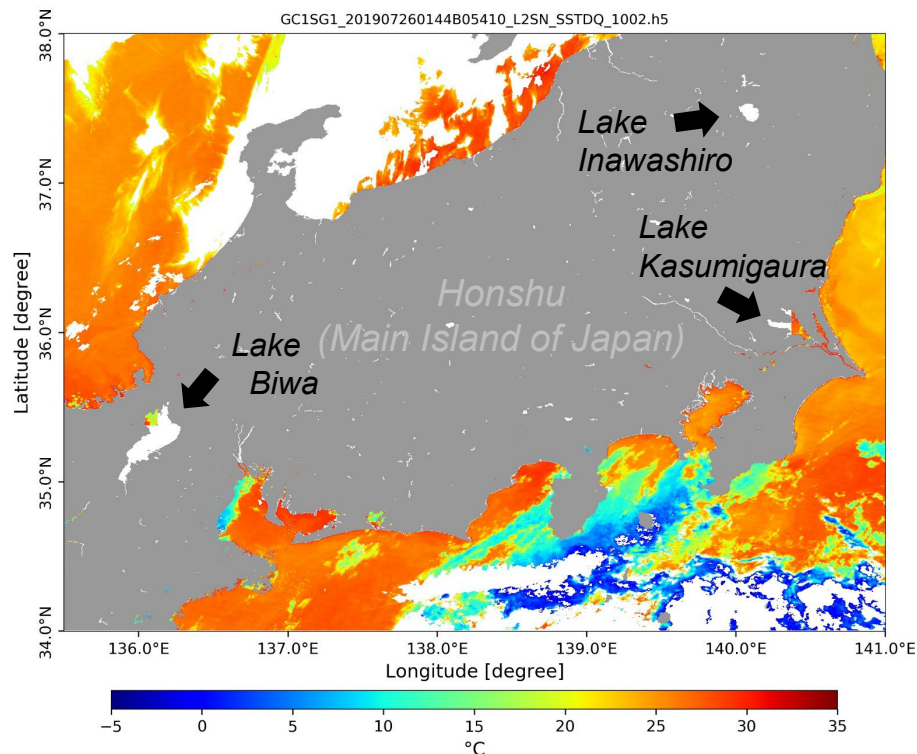
◆校正運用による欠損

LTOAF/Lt_Ti01



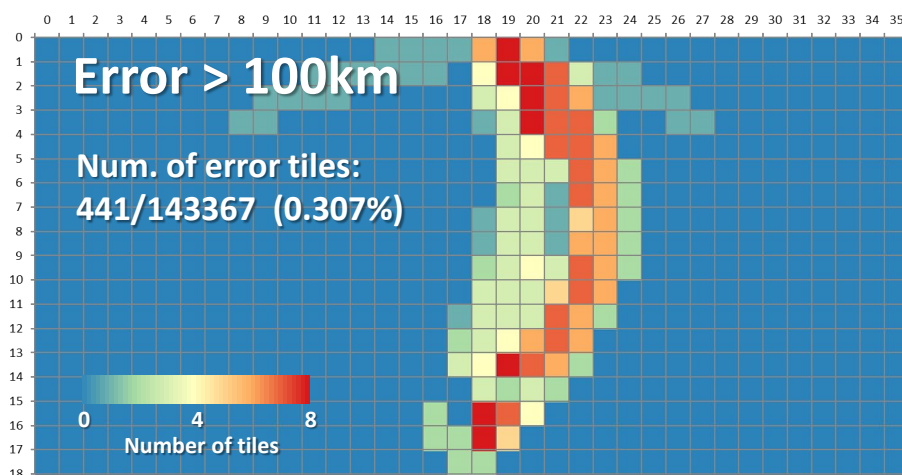
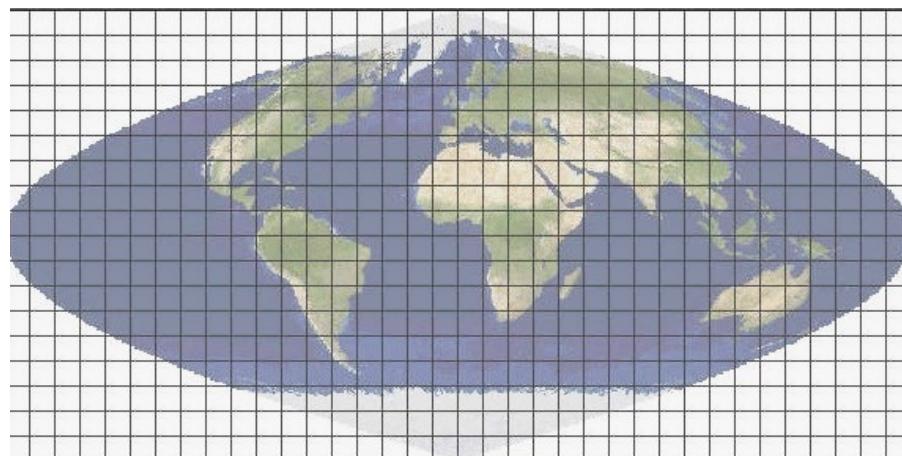
GCOM/SGLIプロダクトは、定期的実施する校正運用の期間においてデータ欠損が発生します。上記のような欠損は、校正に伴う計画通りの欠損であり、プロダクトの異常ではありません。校正運用の計画や実績は、イベント情報をご覧ください。

◆SSTの欠損、縞

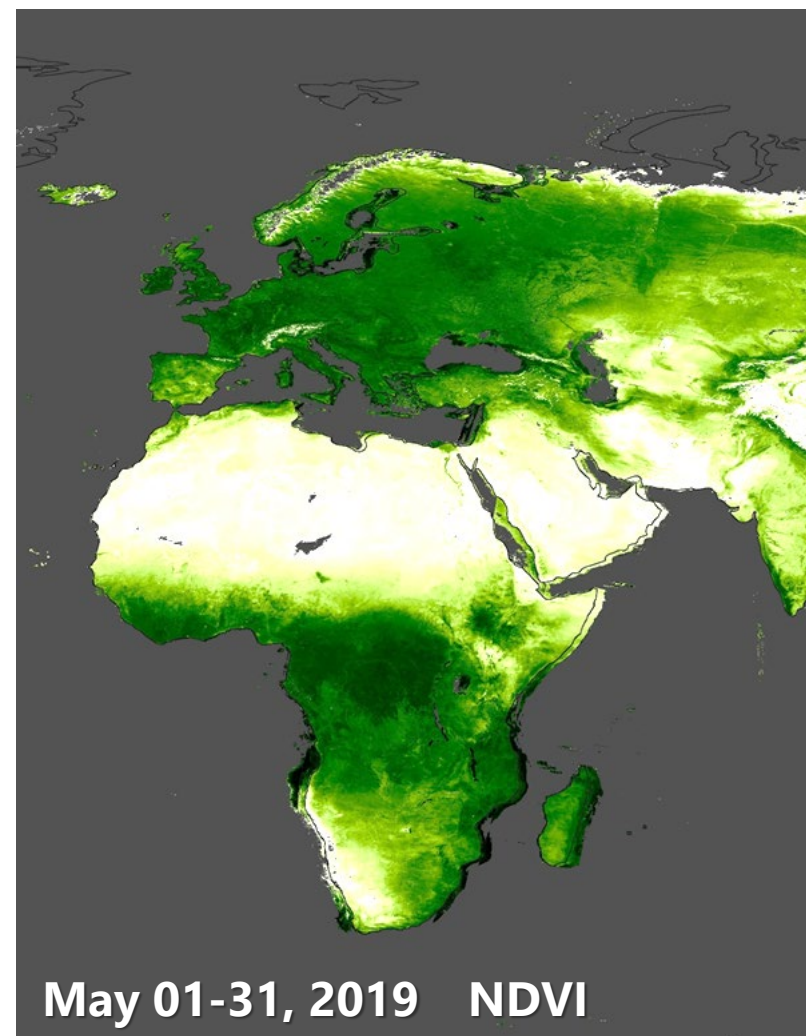


SSTプロダクトにおける湖沼の一部欠損、スキャン方向の横縞と欠損は、今後のバージョンアップで修正予定です。

◆タイルプロダクトの幾何ずれ



LTOAQ: Descending



2018/1/1-2019/6/19のタイルプロダクトの一部で幾何ズレが発生しています。
対象となるグラニューールIDと、タイル毎の影響度の詳細はG-Portal FAQより公開しています。

今後のバージョンアップの計画は以下の通りです。
バージョンアップに伴い、グラニューールIDとFTP階層（標準プロダクトのみ）がインクリメントされます。

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022
	▲	▲		▲	▲	
	打上げ	Ver.1公開		Ver.2公開予定	Ver.3公開予定	

グラニューールID

レベル1プロダクト

Byte	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
GID	G	C	1	S	G	1	_	Y	Y	Y	Y	M	M	D	D	H	H	m	m	s	P	P	P	S	S	_	L	L	x	x	_	K	K	K	m	r	_	a	p	p	p
設定例	G	C	1	S	G	1	_	2	0	1	1	1	1	1	3	2	3	4	5	A	0	1	2	0	6	_	1	B	S	G	_	I	R	S	N	K	_	1	0	0	1

レベル2プロダクト（シーン） SST, NWLR, IWPR, OKIDのプロダクトが該当

Byte	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
GID	G	C	1	S	G	1	_	Y	Y	Y	Y	M	M	D	D	H	H	m	m	s	P	P	P	S	S	_	L	L	x	x	_	K	K	K	K	r	_	a	p	p	p
設定例	G	C	1	S	G	1	_	2	0	1	1	1	1	1	3	2	3	4	5	A	0	1	2	0	6	_	L	2	S	G	_	S	S	T	D	K	_	1	0	0	1

レベル2プロダクト（タイル・全球）及びレベル3プロダクト

Byte	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
GID	G	C	1	S	G	1	_	Y	Y	Y	Y	M	M	D	D	m	t	t	t	_	g	A	A	A	A	_	L	L	x	x	_	K	K	K	K	r	_	a	p	p	p
設定例	G	C	1	S	G	1	_	2	0	1	1	1	1	1	3	D	0	1	D	_	T	0	5	2	7	_	L	2	S	G	_	C	L	F	G	Q	_	1	0	0	1

FTP階層（例）※準リアルプロダクトはVer.番号ごとの階層が存在しません。
/standard/GCOM-C/GCOM-C.SGLI/L2.OCEAN.SST/**1**/yyyy/mm/dd

